

育てよう！地域を愛し，地域から愛される陽明っ子

大野市陽明中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
地域及び家庭への学校公開日	5回(のべ)6日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー
12人

テーマ「心の教育の充実」

① 地域関係機関と連携した環境教育(陽明の森プロジェクト)

毎年六呂師神明山に植樹をする活動を県・市関係機関と連携して進めてきたが，今年度は，4月26日県奥越農林総合事務所から5名のスタッフを講師として招き，体育館で森林を中心とする環境学習を行った。その後，2・3年生によりシイタケの植え付け作業を行なった。ドリルで50本の原木に穴を開け，菌を打ち込み，校舎の裏に並べて生育を定期的に見守っている。



② 地域・小学校と連携した地区での活動

スクールプランの重点目標として地域との連携を掲げ，夏季休業中を中心に生徒の地区行事への参加を呼びかけた。その結果，ラジオ体操への参加103名，地区奉仕活動参加者27名，その他地区活動への参加者106名という成果を得た。また，保護者からは学校評価の中で次のような評価を受けた。

「中2でラジオ体操に親がラジオ当番の日のみ参加しました。部活動もあるので，用意もあるので大変だろうなと思いましたが，本人もその親のいく日は，絶対に参加するというので，参加したところ地域の方から名前や顔を覚えていただき，『中学生になっても参加してえらい。』などと言ってくれました。大変ですがとてもよいと思いました。」

③ 部活動での「感謝の先取り活動」

日ごろお世話になっている地域の方や様々な関係施設，あるいは，家族のみなさんに感謝の気持ちを持ち，事が成ってから感謝するのではなく，日々の生活の中で，感謝の気持ちを忘れず，それを行動で表せる人になろうと各部活動を中心に取り組んだ(「感謝の先取り」活動)。例えば，通学路のごみ拾いをする部活動があったり，ふれあい公園のごみ拾いをする部活動があったりというように各部が自主的に取り組んだ。

成果と課題

① シイタケの植え付けや植樹という実体験の中で多くの生徒が環境に目を向け，生徒アンケートの中で3年生になるとエコを意識した行動が80%近くできていると評価できるようになっている。今後は，日常的な行動の中で環境を意識した行動が取れるような活動を工夫していきたい。

② 地区行事の参加に対して地域・保護者から良い評価を多く受けた。次年度に向けさらに参加者数が増える工夫を地域・保護者と連携しながら進める。